

# PRESS +

図書館ニュース プレスプラスあ

2020年6月号 No.513

## 天文科学館とコラボ!



今年、「時の記念日」100周年、そして明石市立天文科学館開館60周年という、子午線の通る「時のまち明石」としては記念すべき年です。図書館では、今月から児童書エリアの入口に時間や天文に関する資料を集めて「そうだ、天文科学館にいこう」コーナーを開設しました。毎月小テーマを設けて資料を紹介していくなど、明石市立天文科学館とのコラボレーション展示です。今月のテーマは「明石発・宇宙の旅2020」!

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響があるため、開館状況は天文科学館にお問い合わせください。

P.2 コラム

P.3 たこ文庫

P.4 図書館からのお知らせ & 報告

## 時のまちを行く - Akashi Time Walk -

明石にある時計を紹介するコラム「時のまちを行く」、今回ご紹介するのは「柿本神社」前の展望台にある“水平日時計”です。柿本神社は柿本人麻呂を祀る神社で、天文科学館のすぐそばの人丸山にあります。周辺には天文科学館やトンボの標識など時のまち明石を感じる名所がたくさんありますが、ここにも日時計が設置されています。今回は柿本神社の宮司 岩林さんにお話を伺いました。この日時計は1955年に当時の時計組合の長谷川実太郎氏が還暦祝いに寄贈されたとのこと。設計は上田穰氏によるものです。天板と埋め込まれている銅板にはこの設置の記録と観測時期による補正值表が記されています。柿本神社に関する資料を調べていると同じ1955年に「人丸山復興開発同盟会が発足し、人丸山の整備事業を行った」とありますが、この事業とは別に寄贈されたとのこと。見晴らしの良い展望台にあるため、多くの人で賑わい、時には子どもにいたずらされたり、ベンチ代わりにされたりもしたそうですが、部品交換や場所移動もなく設置された当時の姿を保っています。たくさんの人に愛された場所と時計、これからも大切にしていきたいですね。



今回参考にした本

『明石の風物 II』

山口 徳二郎／撮影 高橋 政晴／解説

山口 徳二郎／発行 (K29 17 2)

## 古写真と歴史

宮司さんにお話を聞く機会をいただきましたので、古写真についてお尋ねしました。この写真は柿本神社拜殿を写したものです。すぐに今の神社と違うことがわかる程に古い写真ですが、いつ頃の景色なのでしょう。写っているものを今の景色と比べながら考えてみました。まず、古写真の手前の左右には立派な金属製の灯籠が写っていますが、現在はありません。この灯籠は戦時中に金属供出されてしまいました。その後、灯籠は石造りに代わったとのこと。ちなみに土台はそのまま奥に移動しています。また、松の木が数本写っていますが、こちらも今は見られません。この松の木は“松くい虫”に食われてなくなってしまったそうです。今回の情報では詳しい撮影年までは分かりませんが、金属の灯籠が残っていることで少なくとも戦前の写真と言えます。よく見ると他にも残っているもの、無くなっているものが多くあります。実際に訪れて今の風景と見比べてみると、タイムスリップを味わえるかもしれません。



古写真



現在の柿本神社



今月のたこ文庫の人は、人丸山の日時計についてお話くださった柿本神社 宮司の岩林誠さんです。引いたのは「No.11 親の本棚から読んだ一冊」。岩林さんは『万葉集』を紹介してくださいました。高校生の頃に柿本神社ゆかりの柿本人麻呂の「東の野にかぎろひの立つ見えてかへり見すれば月傾きぬ」「近江の海夕波千鳥汝が鳴けば心もしのに古思ほゆ」など、たくさんの代表作が掲載されている日本の和歌の原点とも言える、万葉集に興味を持ち、手にとられたそうです。万葉集には変体文字が使われており、作者により様々な癖があります。それを読み解くのがなぞなぞみたいで楽しかったと笑顔で語ってくださいました。『万葉集』を読んでから柿本神社に行くと、より柿本人麻呂の世界を感じることができるかもしれません。

今月のたこ文庫の人

柿本神社 宮司

岩林 誠さん



たこ文庫カード

No.11 親の本棚から読んだ一冊

『万葉集』

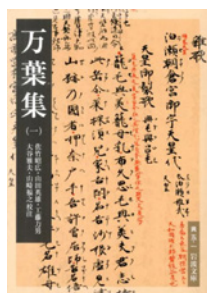
たこ文庫の紹介はホームページで!

<https://takobunko.com/>

「たこ文庫の人2020」公開中!!

## あなたは どう読む? 万葉集を読んでみよう!

紹介していただいた『万葉集』ですが、日本最古の和歌集というだけあって、様々な本が出ています。原文のままのもの、注釈・解釈があるものなど様々で、どれを読むべきか迷ってしまいませんか? そんな方に明石の図書館にある『万葉集』の本を2冊ご紹介いたします。



意味を理解しながら  
本格的に原典を楽しみたい方

『万葉集 1』(全5巻)

佐竹 昭広 他/校注  
出版社/岩波書店

現代語訳と注釈と共にまとめられているので、意味を理解しながら万葉集をしっかり読み始めたい方にピッタリです。



少しフランクに  
万葉集を楽しみたい方

『体感訳万葉集  
令和に読みたい名歌36』

上野 誠/著  
出版社/NHK出版

現代人にもわかりやすく、万葉人になりきった訳が痛快です。古文は苦手な『万葉集』などには手が出しにくいと感じている方におすすめです。

## 時の記念日 100周年 「漏刻」とは

時の記念日は、天智天皇の時代、671年6月10日に「漏刻」と「鐘鼓」によって初めて時を知らせたという『日本書紀』の記述に由来する記念日です。「鐘鼓」は文字通り鐘と太鼓ですが、「漏刻」とはどんなものなのでしょう? 実は「漏刻」は水時計の一種で、中国で発明されて日本に伝わりました。四段の水槽を細い管で繋ぎ、一定量の水が流れるようになっており、一番下の水槽の水面の高さをで時刻を図ることができます。明石市立天文科学館の出入口近くに設置してある水時計がこの「漏刻」の工夫を再現した全国的にも珍しいものです。



## 絵本の宅配サービス 「絵本の宅配便」

新型コロナウイルス感染拡大防止対策の為、やむなく図書館も臨時休館をいたしました。同様に学校園も休校となっており、ご自宅で過ごすみなさまへ、少しでも本を提供できるようにと、市内の未就学児を対象に絵本をご自宅までお届けする「絵本の宅配便」を実施しました。梱包の際には手袋を着用の上、絵本を全て書籍消毒器にかけるなど、衛生面の配慮をしながら絵本の配送をしました。司書の選んだ絵本やリクエストの本をお届けすると、たくさんの方から喜びとお礼のお言葉をいただき、お手紙やメッセージカードをいただくこともありました！



## 長期休館（蔵書点検）について

あかし市民図書館で5月26日（火）～5月31日（日）、明石市立西部図書館で6月8日（月）～6月13日（土）を予定しておりました蔵書点検を、臨時休館中に実施いたしました。長い休館となりみなさまにはご不便をおかけしましたが、上記の期間は開館いたします。本棚は綺麗になり、使いやすくなりました。ぜひ、また図書館をご利用ください。



## 休館日／展示のお知らせ

### あかし市民図書館

〒673-8567 明石市大明石町1-6-1 4F  
☎(078) 918-5800 FAX (078) 913-6071

休館日 6/16（火）

展 示 一般：ヒーロー

児童：雨～虹～

ティーンズ：おうちタイム

### 明石市立西部図書館

〒674-8567 明石市魚住町中尾702-3  
☎(078) 918-5675 / FAX (078) 947-2754

休館日 6/1, 8, 15, 22, 29（月）

6/16（火）

展 示 一般：時間

児童：足元を見てみよう

ティーンズ：悩み